

## 宮川森林組合がカーボン・オフセット植樹事業を開始

初の契約者である、富士通中部システムズとオフセット・クレジット売買契約を締結

宮川森林組合(三重県多気郡大台町、代表理事組合長 細渕淳輔)は、株式会社富士通中部システムズ(愛知県名古屋市中区、代表取締役社長 小原恒明、以下 FJCL という)と、J-VER 制度(注1)を活用したオフセット・クレジット(1,598t-CO2)の売買契約を7月2日に締結します。

本契約は、宮川森林組合が2011年4月に認証をうけたJ-VER制度のクレジットを対象とした初の契約です。今後、「カーボン・オフセット植樹事業」として、さらなる植樹協力企業などを募り、豊かな森づくりと地域活性化を促進してまいります。

契約先のFJCLは、2007年から企業植樹として大台町で継続した植樹活動を行っており、第1号のオフセット・クレジット売買契約に至りました。

今後、宮川森林組合と大台町では積極的に企業植樹の誘致を図り、伐採されたまま放置されている山林への植樹を行うとともに、二酸化炭素吸収量拡大に努めてまいります。

大台町では、十数年前から、広葉樹を中心とした植樹事業を実施してきましたが、木材価格の低迷による山林所有者の森林への投資意欲の低下および、当時は実施例の少ない考え方に基づく森林づくりであったことから、理解していただける出資者が見つかりませんでした。

このような状況下、FJCLが2007年の創立25周年を機に、環境・社会貢献活動を行う企画の一環で、大台町での植樹活動がスタートし、今年で5年目を迎えました。この間、森林組合や大台町とも良好な関係を構築し、宮川森林組合が新たに開始する「カーボン・オフセット植樹事業」の契約第1号となります。

### 【 宮川森林組合の J-VER 認証 】

宮川森林組合のJ-VER制度認証は、森林組合では全国で2番目です。2011年4月27日の認証取得につき、5月19日にオフセット・クレジット5,287t-CO2の発行を受けました。さらに、今後2年間で5,338t-CO2のクレジットが発行される見込で、合計で10,625t-CO2分のクレジットが得られる予定です。

### 【 カーボン・オフセット植樹事業 】

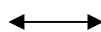
宮川森林組合は、同組合の管理対象地で植樹を行う企業・団体などに対して、見積価格から算出したオフセット・クレジットを売却します。そして得た売却代金をもとに植樹事業を行うという仕組みです。

これにより、オフセット・クレジットを産み出す森林の整備(間伐)と、新たな植樹事業の2つが促進されます。  
(模式図)

植樹協力企業などの出資者

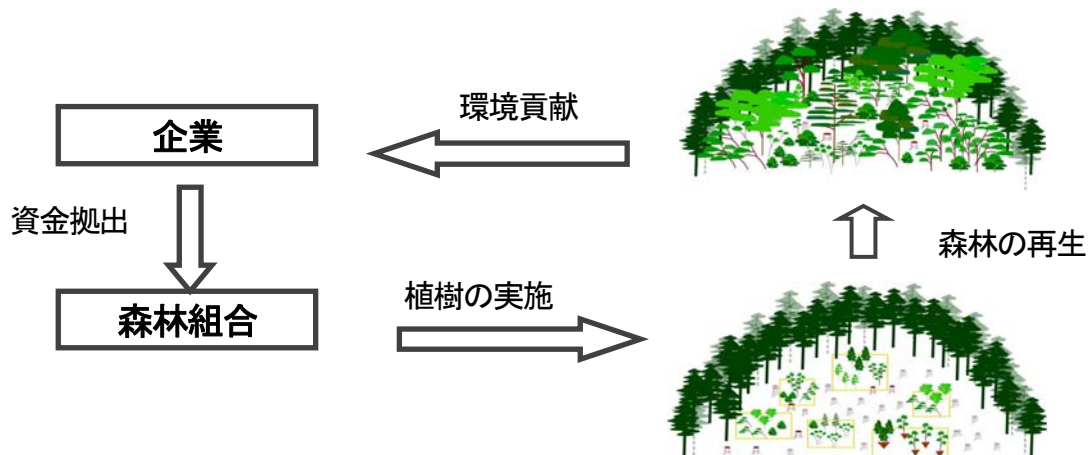
森林組合

- ①植樹を発注
- ③見積額に相当するクレジットを購入

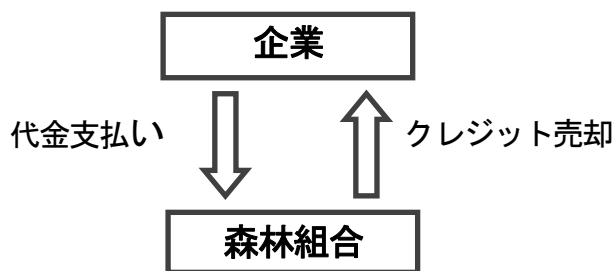


- ②見積り実施
- ④クレジット売却代金を原資に、植樹事業を実施

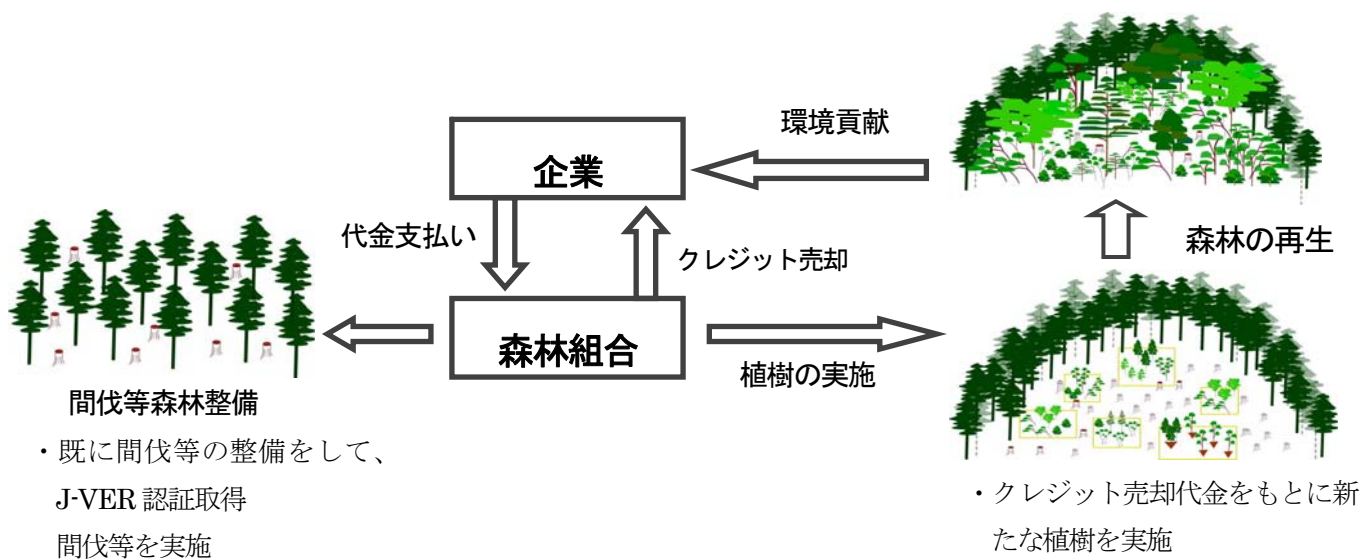
**【これまでの企業植樹】**



**【オフセット・クレジットの売却契約】**



**【カーボン・オフセット植樹事業】**



※簡略化するために森林所有者との関係などは省略しています。

## 【 植樹の特長 】

### 1. 広葉樹を中心とした多様性の高い森づくり

延べ 12 ヘクタールに、110 種類の樹種を植樹してきました。

針葉樹ばかりであった大台町の森林に、多様な樹種が復活するための核となる場所を事業主が提供したことになります。将来的には、ここから種子が飛び散ることや、鳥や小動物が媒介して移動させることで、森の自然更新の役に立つものと考えられます。

### 2. 苗木には地域性苗木を使用

地域生態系を保全するために極力、この地方で産出された苗木を使用します。一般には地域性苗木は少ないため、宮川森林組合が指導を行う「大台町苗木生産協議会」で種苗生産を行っています。

### 3. シカ害対策として、小規模な区画をフェンスで囲うパッチディフェンスを採用

中部地方一帯は、シカによる植物の食害が激しい地域です。従来型の大区画をフェンスで囲う方法は、シカが入り込みやすいため、「パッチディフェンス」という新しい方法を採用しています。パッチディフェンスは最大 150 m<sup>2</sup>程度の狭い区画をフェンスで囲むため、シカの侵入が極めて少ないという特長があります。

植樹技術と防鹿対策については自然配植技術協会(京都市、会長 高田研一)の指導を受けています。

## 【 大台町への寄付 】

宮川森林組合は、オフセット・クレジットで得た資金の 5%を大台町が設立した「大台町自然との共生基金」に寄付し、地域活性化や林業の担い手対策など、同基金が目的とする「自然と人びとが幸せに暮らすまち(自然との共生)」に伴う事業に活用してもらうこととしています。

## 【 FJCL とのオフセット・クレジット契約 】

2007 年から本日の経過観察会まで、森づくりに出資した資金をCO2 吸収量クレジットに換算して1,598t-CO2のオフセット・クレジット売買契約を締結します。

FJCL では入手したクレジットを、以下の方法でオフセットしたいと考えています。

- ・自社の営業活動に使用する社用車から排出される 40 トン/CO<sub>2</sub>・年のオフセット
- ・自社の環境ソリューション(サービス)にオフセット権を付けてお客様に提供
- ・富士通グループの事業活動に関するオフセット
- ・地域のエコイベントや公共施設の運営(電気使用、移動など)に関するオフセット

以上

## 【 注釈 】

注1: J-VER 制度 (Japan Verified Emission Reduction)

2008 年 11 月に開始された環境省による認証制度です。森林が CO<sub>2</sub> を吸収する能力や、自主的に削減された温室効果ガスの排出量を、信頼性の高いクレジットとして認証するものです。

認証された CO<sub>2</sub> 削減量は科学的根拠に基づいて計量された信頼性の高いものですので、カーボン・オフセットに利用することができます。

### 【本件に関する報道関係者お問い合わせ先】

- 宮川森林組合 鳥山 昌章、岡本 宏之 電話 0598-76-0135 FAX 0598-76-0263  
〒519-2505 三重県多気郡大台町江馬 316 番地 (緊急連絡先 090-4795-3779 PM3:00 以降)
- 大台町役場 産業室 谷 昌樹 電話 0598-76-1714 FAX 0598-76-0906  
〒519-2592 三重県多気郡大台町江馬 316 番地 (緊急連絡先 090-4791-0936 PM3:00 以降)
- 株式会社富士通中部システムズ 電話 050-3016-6103(IP 電話)  
人材開発部(広報担当) 部長 鈴木 律子、大石 幸司  
〒460-0003 名古屋市中区錦 2-9-29 ORE 名古屋伏見ビル